

第9章 鎌倉市環境教育行動計画

1 環境教育（目標項目⑯）

目標：意欲的に環境保全に取り組む人を育てます。

◆基本方針

- 持続可能な社会の形成に向けた環境教育を推進します。
- 自ら行動しようとする「こころ」を育てます。

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠であることから、平成 15 年(2003 年)に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律（平成 15 年法律第 130 号）」が制定され、平成 23 年度(2011 年度)には協働取組の推進等を盛り込み、題名を「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」として改正されました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

本市では、平成 19 年(2007 年)に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定し、また平成 27 年度(2015 年度)には持続可能な開発のための教育（ESD）の趣旨を反映するなどし、「鎌倉市環境教育行動計画」として改めて策定しました。本市ではすべての人が身近な環境から国や世界、将来世代の環境を意識して行動できることを目指した環境教育を推進しています。

目標を達成するための取り組み

第1節 ライフステージに応じた環境教育の実施

環境教育は継続的に行うことや、年齢・ライフステージに応じて取り組んでいく必要があるため、環境問題に関心を持つための情報提供や学習会等の実施を推進し、環境保全に対する知識の増進及び知識の芽の育成に取り組みます。

令和 6 年度の主な事業は以下のとおりです。

主な事業	事業内容	実績
夏休み子ども向け自然観察会（少年期） 【環境政策課】	環境保全の普及啓発のため、夏休み子ども向け環境学習会を開催します。	実施回数：1 回 参加人数：8 名（小学生 5 名、保護者 3 名）
出前講座（少年期） 【環境保全課】 【ごみ減量対策課】	＜環境保全課＞ 小中学校の児童生徒を対象に、大気汚染やエネルギーの有効活用等、環境についての講義を実施します。 ＜ごみ減量対策課＞ 市内保育園、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象に、ごみの減量・資源化の啓発等についての講座を実施します。	＜環境保全課＞ ○水生生物等環境調査 令和 6 年度（2024 年度）は実績なし。 ＜ごみ減量対策課＞ 図書館との協働によるおはなし会の開催や取材形式等により、計 9 件の環境教育を実施しました。
下水道に関する啓発活動の実施（少年期以上） 【下水道経営課】	下水道事業への理解や普及の促進維持活動の充実を図るため、PR 事業を実施します。	＜下水道経営課＞ ・ 9 月 10 日「下水道の日」に合わせ鎌倉市下水道週間を定め、市が独自に作

【浄化センター】		成した下水道啓発ポスターを、鎌倉市立の小中学校及び支所等に掲示しました。 ＜浄化センター＞ ・市内在住・在学の小学生とその保護者を対象に、「夏休み親子下水道教室」と題して、下水処理場の見学や簡単な水質実験等を行い、下水道事業の周知及び理解促進を図った。（参加者：16組 35名）
農業体験事業の実施 （少年期から高年期） 【みどり公園課】 （指定管理者） 【環境政策課】	アドバイザーの派遣や都市公園での農業体験を実施します。	鎌倉中央公園において、（公財）鎌倉市公園協会と「山崎・谷戸の会」が協働して自然や農業に対する理解や関心を深めるため、市民を対象に農業体験を実施しました。 田んぼ体験（4月6日～3月23日）は延べ460人、畑体験（4月8日～3月17日）は延べ233人の参加者がありました。
食育に関する啓発活動の充実（少年期から高年期） 【市民健康課】	食品廃棄物の発生抑制や再生利用等の環境にやさしい「食」生活を推進します。	食に関する講座や啓発時において、食品ロス削減やローリングストックを進めるための声かけを行った。
緑の学校（青年期） 【みどり公園課】	緑の効用や仕組みへの理解を深めるため、講義や自然観察会を実施します。	令和6年度（2024年度）は10回開催され、受講者数は延べ80人の参加者がありました。

●環境に関する作品コンクール

＜みどり公園課・下水道経営課＞

夏休みの自由研究として、平成7年度（1995年度）から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

令和6年度（2024年度）は、応募者数118名、うち優秀賞が33名でした。

9月10日の「下水道の日」にちなみ、公益社団法人日本下水道協会及び（株）日本水道新聞社主催で、小中学生及び一般の方からポスターや書道作品を募集する「下水道いろいろコンクール」を実施しています。

鎌倉市立の小中学校及び支所等にポスターの掲示等を行い、コンクールについて周知しました。

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表9-1のとおり講座を開催しました。

表9-1 環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
オギ原で遊ぼう！ 環境保全	令和6年4月4日 放課後かまくらっ子やまさき	9名
エシカル絵本のおはなし	令和6年4月15日 放課後かまくらっ子だいいち	29名
エシカル絵本のおはなし	令和6年4月25日 放課後かまくらっ子しちりがはま	34名
谷戸のお手伝い ～竹落葉と水路の手入れ～	令和6年4月26日 放課後かまくらっ子やまさき	18名
オギ原を守ろう！	令和6年6月10日 放課後かまくらっ子やまさき	20名
廃材を使って手作りオモチャ を作ろう	令和6年6月12日 放課後かまくらっ子おおふな	56名
葉書き作り ～牛乳パックをちぎって和紙の 材料作り～	令和6年6月12日 放課後かまくらっ子おさか	96名
オリジナル紙袋を作ろう ～君もリサイクルの達人だ！ ～	令和6年6月24日 放課後かまくらっ子やまさき	32名
水を知ろう！ ～水の大切さの学びと実験～	令和6年7月3日 放課後かまくらっ子ふかさわ	30名
オリジナル紙袋を作ろう ～君もリサイクルの達人だ！ ～	令和6年7月18日 放課後かまくらっ子せきや	36名
谷戸のお手伝い・橋をかけよう	令和6年7月22日 放課後かまくらっ子やまさき	23名
流木工作 ～海に流れつく流木工作～	令和6年8月6日 放課後かまくらっ子いなむらがさき・大船中学校ボランティア部	17名
谷戸のお手伝い・草取と木工作業	令和6年8月23日 放課後かまくらっ子やまさき	17名
エコバック作り	令和6年8月26日 放課後かまくらっ子おなり	32名
草刈りと木工作業	令和6年9月2日 放課後かまくらっ子やまさき	21名
エシカルな絵本の読み聞かせ	令和6年9月3日 放課後かまくらっ子うえき	16名
ロックフォトホルダー ～岩の写真立て～	令和6年9月10日 放課後かまくらっ子にかいどう	20名
谷戸のお手伝い・道を作る	令和6年10月11日 放課後かまくらっ子やまさき	21名
押し花でしおりを作ろう	令和6年10月15日 放課後かまくらっ子うえき	28名
押し花でハガキを作ろう	令和6年10月29日 放課後かまくらっ子ふじづか	29名
木の実のクラフト	令和6年10月30日 放課後かまくらっ子せきや	47名
私たちと水 ～水的重要性を学ぶ～	令和6年11月6日 放課後かまくらっ子いなむら	19名
親子ビーチクリーン・腰越海岸	令和6年11月13日 放課後かまくらっ子こしごえ	37名
かまぐらの海と魚 ～海で起きている環境問題～	令和6年11月13日 放課後かまくらっ子ふかさわ	37名

かまぐらの海と魚 ～海で起きている環境問題～	令和6年11月18日 放課後かまぐらっ子いまい ずみ	45名
かまぐらの海と魚 ～海で起きている環境問題～	令和6年11月26日 放課後かまぐらっ子たま なわ	52名
谷戸のお手伝い・わたの収穫	令和6年11月27日 放課後かまぐらっ子やまさ き	21名
廃材使って手作りおもちゃを 作ろう	令和6年12月24日 放課後かまぐらっ子おお ふな	24名
オギ原をまもろう！ ～保全作業の体験～	令和7年1月9日 放課後かまぐらっ子やまさ き	23名
私たちと水 ～水の重要性を学ぶ～	令和7年1月20日 放課後かまぐらっ子やまさ き	24名
君もリサイクルの達人だ！ ～「地球を大切に作る」つな げる	令和7年1月20日 放課後かまぐらっ子おさ か	44名
谷戸のお手伝い・竹林整備	令和7年1月24日 放課後かまぐらっ子やまさ き	21名
流木細工	令和7年2月12日 放課後かまぐらっ子おな り	26名
木の実でクラフト ～ネームプレートを作ろう～	令和7年2月19日 放課後かまぐらっ子おお ふな	19名
谷戸のお手伝い・耕し、穴掘 り	令和7年3月17日 放課後かまぐらっ子やまさ き	14名

※ビーチクリーン：放課後かまぐらっ子にしかま他3施設：11月30日悪天候のため中止

●学校における環境教育の取組

＜教育指導課・環境政策課＞

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身に付けたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。

表9-2 公立小・中学校における環境教育の取組（令和6年度）

学 校 名	内 容	学 年
第一小学校	海・野山で自然と触れ合う	1～3年
	稲、野菜、花の栽培・観察	全学年
	環境学習（ごみとリサイクル）	全学年
	環境学習（海）	4・5年
第二小学校	野菜、花の栽培・観察	全学年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	地域の自然調査	3年
御成小学校	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	環境学習（ビーチクリーン等）	4年
	野菜・花の栽培・観察	全学年
	自然との触れ合い	1・2年
	水の学習	4年
	稲の栽培	5年
	生物の飼育・観察	5年
稲村ヶ崎小学校	稲・野菜・花の栽培と観察	全学年
	自然との触れ合い	全学年
	環境学習（ごみ・リサイクル・海）	全学年
七里ガ浜小学校	生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫	全学年
	広町の自然と触れ合う	1～6年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
腰越小学校	稲・野菜・植物の栽培、観察	全学年
	生物の飼育・観察	全学年
	上下水道について	4年
	環境学習（海・ごみ・温暖化）	5年
深沢小学校	稲・野菜・草花の栽培と収穫	1～5年
	自然とのふれあい、観察	1～4年
	環境学習（ごみと水問題）	4年
	人と環境	6年

学 校 名	内 容	学 年
	谷戸の活動	5年
小坂小学校	稲の栽培・谷戸の活動	5年
	野菜の栽培・収穫	1・2・4年・特別支援級
	水の学習	4年
玉縄小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	環境学習（出前授業・水問題・SDGs・ごみとリサイクル）	3・4年
	環境学習（稲・出前授業）	5年
	水・森林の学習と調べ学習	4年
	漁業（資源問題と調べ学習）	5年
山崎小学校	地域の自然観察	全学年
	稲・野菜の栽培	全学年
	生物の飼育（カイコの飼育）	3年
	環境学習（ごみ問題・水・リサイクル）	4・6年
西鎌倉小学校	稲・野菜・花の栽培	1～3・5年
	自然との触れ合い・観察（広町緑地）	全学年
	環境学習（リサイクル）	全学年
	環境学習（宮ヶ瀬ダムほか・浄化センター・クリーンセンター見学）	4年
今泉小学校	野菜・花の栽培	全学年
	自然との触れ合い・観察	1・2年
	環境学習（山崎浄化センター他見学、水・ごみの調査・学習）	4年
	漁港見学（腰越漁港で獲れる水産資源、ビーチ掃除）	5年
富士塚小学校	稲・野菜・花	1～5年
	植物栽培、畑づくり	1～3年
	中央公園の自然と触れ合う	1～3年
	環境学習（SDGs・水・ごみの調査・学習）	3・4年
	谷戸の活動	5年
関谷小学校	関谷川（水質調査）環境学習	6年
	野菜、花・稲の栽培	1～5年
	環境学習（SDGs・絶滅危惧種等）	4～6年
	環境学習（出前授業・浄化センター・クリーンセンター）	3・4年
	生物の飼育	3・5・6年
大船小学校	野菜・花の栽培	1～5年
	環境学習（水・ゴミについて、防災）	4年
	自然とのふれあい・観察	全学年
	生物の飼育	1・2・5年

学 校 名	内 容	学 年
植木小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	地域の自然観察	1～3年
	環境学習（ごみ・水・リサイクル・エネルギー等）	4～6年
第一中学校	作物の栽培	特別支援級
	マイクロプラスチックの研究	理科部
	防災学習（逃げ地図・避難所体験・地域調査）	全学年
第二中学校	自然とふれあう体験活動	2年
	作物の栽培	特別支援級
御成中学校	南斜面の整備	科学部
	野菜の栽培	科学部
	海の清掃	ボランティア部
	給食時間の延長	生徒会
腰越中学校	海や川の清掃	1・2年
	植物の栽培	特別支援級
	自然体験（田植え）	3年
	地域学習（防災調査・広町緑地）	1年
深沢中学校	作物の栽培	特別支援級 科学部
	防災学習（防災マップ他）	1～3年
	環境学習（SDGs）	1～3年
手広中学校	防災学習（防災マップ・避難所体験）	全学年
	学校緑化	全学年
大船中学校	「郷土」をテーマとする調査活動	1年
	作物の栽培	特別支援級
玉縄中学校	自然とふれあう体験活動	2年
岩瀬中学校	作物の栽培	特別支援級 自然科学部

●公立小・中学校における環境教育の取組例

学校名	鎌倉市立西鎌倉小学校	代表者	校長 上 太一
住所	鎌倉市津 1069	T E L	0467-32-4100
F A X	0467-32-9686	担当者	川坂
取組状況 「広町探検隊 → 広町みんなに届け隊」実践記録 ～地域の自然にふれ、守り、伝える学び～ 西鎌倉小学校 2 年生は、2024 年度を通じて、鎌倉市の自然の宝「広町緑地公園」を舞台に、自然とふれあいながら学びを深め、持続可能な未来を考える実践を行いました。 1 学期、生活科の町探検で子どもたちが最も興味を示したのが「広町公園」でした。「小川の水を飲んだけど、水源はどこだろう?」「もっと探検したい!」といった声があがり、2 学期から広町緑地と連携した学習がスタートしました。 まずは「広町探検隊」として、森の中で基地づくりをしたり、落ち葉や自然素材を使ったリースやアートを楽しんだりしながら、自然と遊ぶことの楽しさや自然の不思議さを体感しました。活動は、木と麻ひもで作ったブランコや、落ち葉プールづくりなど、子どもたちの創造力と主体性でどんどん広がっていました。 やがて、子どもたちの関心は「広町をもっと知りたい」「もっと多くの人に伝えたい」という思いへと変化。活動名も「広町探検隊」から「広町みんなに届け隊」に改め、地域の人々に向けた発信活動へと展開していきました。 広町公園のボランティアの方々と連携したフィールドワークでは、「葉っぱから広町を知る」「水の流れを探る」「葉の下の生き物を調べる」など、身近な自然を深く見つめる学びを実施。インターネットや本だけでなく、「人に聞く」ことで学ぶ大切さを体験しました。 さらに、学んだことを校内掲示や模造紙にまとめ、地域に向けてポスターやチラシを制作。西鎌倉駅や大船駅、町内会掲示板、地域のスーパーなどにも掲示し、子どもたち自身が広町の魅力を広めました。「広町は鎌倉の宝。野生のフクロウがいるよ!」といったキャッチフレーズも子どもたちが考案したものです。 保全活動としては、落ち葉を運んで堆肥づくりを手伝ったり、林道のコケ取り作業にも挑戦しました。作業の意味や効果を学びながら、自然を守ることの大切さを「自分ごと」として捉えていく姿が印象的でした。 また、広町を守り続けてきた市民の方から直接話を聞く出前授業では、「なぜ自然を守ろうと思ったのか」「署名を集めたときの苦労は?」など、子どもたちの真剣な質問が飛び交い、自然と人との関わりをより深く学びました。 1 年間の活動の最後には、保護者や 1 年生に向けて発表を行い、自分たちの学びを振り返りながら伝える経験もしました。地域の方から「ポスターを見て広町に行きたくなった」という声も届き、子どもたちの活動が地域へ広がっていく喜びも味わいました。 このように、子どもたちは自然の中で遊び、学び、発信し、地域とつながりながら、持続可能な社会を自ら考え、行動する力を育んできました。広町公園での学びは、子どもたちにとって「地域の自然は自分たちの手で守りつないでいくもの」という気づきを与える貴重な体験となりました。			

学校名	鎌倉市立小坂小学校	代表者	校長 山里昌士
住所	鎌倉市小袋谷587	TEL	0467-44-1228
FAX	0467-44-2122	担当者	教頭 佐藤竜二
取組状況 1、2年生では、トマトの栽培など、栽培から収穫を学習しました。 4年生は、浄水場の見学など、水の学習を主に行いました。 特別支援学級では、4年生の水の学習に参加し、また、校内の畑でのイモの栽培・収穫を行いました。 5年生は、お米マイスターによる出前授業など、米についての学習を深めました。また、SDGsの学習として、環境問題について興味ある分野を調べ、調べて分かったことや自分の考えを発表しました。			

学校名	山崎小学校	代表者	校長 坂井泰雄
住所	鎌倉市山崎 2500	TEL	0467-44-1232
FAX	0467-44-2965	担当者	教頭 山内美智子
取組状況 山崎小学校では、全学年、地域の谷戸を活用して、自然観察や稲・野菜の栽培を行いました。谷戸には、田んぼや各学年の畑があり、バッタやヤゴなど生き物の観察ができます。 また、3年生では、生物の飼育（カイコの飼育）を行いました。理科や総合の時間を活用して、教育センターを通してカイコの卵をいただき、校内や谷戸の桑の葉で飼育しました。 4～6年生は、理科や社会、総合の時間に環境学習（ごみ問題・水・リサイクル）を行いました。			

学校名	鎌倉市立第一中学校	代表者	校長 池邊 晴子
住所	鎌倉市材木座 6-19-19	TEL	0467-25-1300
FAX	0467-25-4962	担当者	目黒 晋作

【活動内容】

『マイクロプラスチックの回収方法と再利用の工夫』（鎌倉市立第一中学校理科部）

1. 課題

鎌倉市立第一中学校の目の前には材木座海岸が広がります。海の近くの学校ならではの研究を考えた時、SDGs14「海の豊かさを守ろう」をテーマに理科部としてアプローチできないかと考えました。

材木座の海岸には多くのマイクロプラスチックがあります。そのプラスチックを回収して再利用できないかと考え、1年間の探究学習を行いました。一番の課題は、効率よくマイクロプラスチックを回収する方法です。

2. 仮説

マイクロプラスチックは水に浮くため、海辺の砂を回収し、バケツの中で水と攪拌することでプラスチックが浮かびあがり、回収しやすいのではないかと考えました。

3. 調査の方法と結果

材木座の複数の位置の砂を回収し水と攪拌することで、回収できるプラスチックの量を調べました。

- ① 波打ち際…ほとんど回収することはできませんでした。
- ② 満潮時の水の境目…多くのプラスチックが回収できました。
- ③ 河口…ほとんど回収することができませんでした。



4. 考察と課題

流れ着いたプラスチックは満潮時の水と砂浜の境目に堆積していくことが分かりました。

課題としては、回収の効率の悪さでした。水で攪拌する作業は、力も必要な割に取れる量が少ないのです。そこで、より効率的に回収する方法を搜したところ「スナフル」という器具をネット上で発見しました。



スナフル

5. 解決策と再利用の工夫

本来のスナフルは、プラスチック性の筒状のものに、約1.2mmの穴を開けた器具で、3Dプリンターで作成されていましたが、本校には3Dプリンターが無いため、空き缶に錐で穴を開けて「スナフル」を作成しました。

満潮時の境目の部分で「スナフル」を使用したところ、効率よく多くのプラスチックの回収ができました。そして、回収したプラスチックは色分けし、レジンアートにしてみました。

これらの探究結果は本校の文化週間の活動報告で全校にお知らせし、レジンアートも保護者や生徒に見ていただきました。

レジンアートをどのように活用していくかは、生徒たちが検討中です。



レジンアート

●私立学校における環境教育の取組例

学校名	鎌倉女子大学中等部	代表者	部長 高橋 正尚
住所	鎌倉市岩瀬 1420	TEL	0467-44-2113
FAX	0467-44-2103	担当者	次長 松行 俊和

取組状況

【 校外学習 鎌倉市由比ヶ浜海岸 ～ビーチコーミング～ 】

2024 年 10 月 18 日（金）、中等部 1 年生は、由比ヶ浜海岸で校外学習を行いました。

「総合的な学習の時間」の一環として、生徒たちは「自然」をテーマに、SDGs の視点から、海の豊かさと海洋汚染の課題について考えています。

鎌倉ユネスコ協会の皆様にご指導いただいております。まずは 2 日間の事前講義があります。関連する事柄についての知識を広げたうえで、海岸での体験学習に臨みます。

由比ヶ浜海岸でビーチコーミングの活動を行い、貝殻や流木、シーグラス、プラスチックゴミなどの漂流物を収集しました。その後、収集した漂流物を活かしてサンドアートを班ごとに制作しました。自然の豊かさと海洋汚染等の学習を受けた生徒たち作品は、その成果がみごとに表現されたものとなりました。



事前学習の様子



説明を受けている様子①



説明を受けている様子②



サンドアート作品

学校名	鎌倉女子大学中部	代表者	部長 高橋 正尚
住所	鎌倉市岩瀬 1420	TEL	0467-44-2113
FAX	0467-44-2103	担当者	次長 松行 俊和

取組状況

【 校外学習 鎌倉国宝館 】

2024 年 11 月 27 日(水)、中部 2 年生は、鎌倉国宝館で校外学習を行いました。

「総合的な学習の時間」の一環として、「文化財保護」をテーマに、鎌倉国宝館での文化財保護の作業体験を通して、SDGs の視点から、文化財に関心をもち、その保護や継承の意義について考えています。

鎌倉国宝館学芸員の皆様にご指導いただいております。まずは事前講義があります。「世界文化遺産」や鎌倉が「世界文化遺産」への登録を目指したことなどについてご説明いただき、理解を深めたうえで、鎌倉国宝館での体験学習に臨みます。

保管や運搬時に仏像を包むために使う「ふとん」の作成や、巻物状の掛け軸の扱い方を学芸員の方から教えていただき、体験しました。その後は、事前学習で教えていただいた「修復」という観点で展示の仏像などを見ることができました。学校での普通の授業ではできない体験や貴重な展示の数々から、たくさんの学びを得ることができました。



「ふとん」を作成している様子



掛け軸の扱い方を教わる様子



鎌倉国宝館にて



軸の巻き方を教わる様子

学校名	鎌倉女子大学高等部	代表者	部長 高橋 正尚
住所	鎌倉市岩瀬 1420	TEL	0467-44-2113
FAX	0467-44-2103	担当者	次長 松行 俊和

取組状況

【「鎌倉プロジェクト」発表】

2025年2月12日（水）、高等部2年生は、鎌倉市市民防災部観光課の方をお招きして、代表者生徒による「鎌倉プロジェクト」の発表を行いました。

本校の「鎌倉プロジェクト」では、「総合的な探究の時間」の一環として、〔SDGs 11 持続可能なまちづくり〕の視点から、企画提案型の活動に取り組んでいます。高等部1年次から2年次にかけて、総合的な探究の時間において、身近な地域である鎌倉市の課題を知り、主体的にその課題を解決するための取り組みについて考えていき、それを提案します。社会参画力の育成を目指した学習です。

約1年前に観光課の方をお招きして、生徒たちに鎌倉市の現状や課題について講演をしていただきました。その結果、良好な環境の保全及び向上を目的として鎌倉市が定めた「鎌倉市公共の場所におけるマナーの向上に関する条例」をさらに知ってもらう必要があることが分かり、条例を周知するためのアイデアを考えて、観光課の方に提案するための準備を1年間かけて進めてきました。

アイデアを考えるにあたって、昨年6月に迷惑行為が起きそうな場所を事前に想定して鎌倉で実地調査を行い、この調査で分かった実態をもとに各自がまとめた報告レポートを11月のみどり祭（文化祭）で展示しました。さらに、これらを踏まえて考えた条例周知のアイデアを3学期に各クラスで1人ずつ発表を行い、クラスごとに代表者2名を決定しました。

そしていよいよ、同じ学年のみんなが見守る中、観光課の方に向けて代表生徒10名による発表が行われました。代表者たちは緊張した面持ちでしたが、自分で考えたアイデアを観光課の方に伝えることができました。

最後に観光課の方から全体について講評をいただきました。地域の方には条例になじみがあるものの、観光で来る方に対してさらにアプローチが必要である点や、今回のアイデアを今後の鎌倉市が企画する計画に取り入れることも検討したいとお話いただきました。



スマートフォンを活用した提案



ネットの検索に着目したアイデア



メリットやデメリットも説明



海外の方向けの周知の工夫



実地調査で知った現状を説明



司会進行も生徒が務めました

学校名	鎌倉女学院中学校高等学校	代表者	校長 大野明子
住所	鎌倉市由比ガ浜2-10-4	TEL	0467-25-2100
FAX	0467-25-1358	担当者	南澤 亜希子

取り組み事例

中学1年生では由比ガ浜でのビーチコーミングや鶴岡八幡宮源氏池周辺でのバードウォッチングを、希望者を対象にした土曜講座として実施しました。

中学2年生では技術・家庭科の授業でパナソニック株式会社エレクトリックワークス社の方を講師にお招きし、エネルギーと電気についての特別授業を行いました。

中学3年生は総合学習として、自分たちの身近な環境問題を探究し、課題解決のための方法を提案しました。

委員会活動として、学校周辺の清掃活動を行いました。

本校では、令和5年度よりPILLOT社の「プラスチックペンリサイクル活動」に参加しています。校内で使用済みプラスチックペンを回収し、PILLOT社に送付しました。回収後の使用済みプラスチックペンはアップサイクルされて新しい文具となるそうです。また、生徒の発案により、使用済みの使い捨てカイロを回収し、カイロから土壌改良剤・水質浄化剤を製造する団体へ送付しました。これらの取り組みは令和7年度も継続して行う予定です。

●事業者による環境教育・啓発活動の実施

- ・節電や省エネ関係のポスターやビラ（行政や上部団体の作成したもの）を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。【湘南モノレール株式会社】
- ・学校教育支援活動として、出張授業を実施。令和6年度の鎌倉市内では、小学校3クラス、中学校1クラスを実施。【東京ガス株式会社】
- ・地球環境の維持、森林資源の保全、生活の向上（健康・快適・経済）に繋がる省エネ住宅に関する講義、省エネ性・快適性を体感するモデルハウスの見学会を実施。【株式会社イソダ】

環境教育を実践できる人材の育成と活用

環境教育や環境保全活動等の推進における指導者や教職員の育成や資質の向上に努めるとともに、指導者を地域の環境学習会等に派遣するなど、地域や学校の取り組みを支援します。

令和6年度の主な事業は以下の通りです。

主な事業	事業内容	実績
緑のレンジャー（ジュニア）の育成 【みどり公園課】	自然の生き物や草花とふれあうことで自然に対する意識の高い緑のレンジャー（ジュニア）を育成します。	令和6年4月から令和7年3月までに全11回実施し、30名（延べ215名）が参加した。
緑のレンジャーの育成 【みどり公園課】	市民との連携推進の一環として、豊かな兵陵の樹林地を管理する緑のレンジャーを育成します。	令和6年4月から令和7年3月までに全9回実施し、20名（延べ144名）が参加した。
アドバイザーの派遣 【環境政策課】	環境教育アドバイザー派遣制度により、環境に関する専門的な知識や経験を有する、アドバイザーを派遣し出前授業を行います。	講習会等に40回、226人のアドバイザー及び補助者を派遣。 受講者数延べ1,890名
学校職員の環境教育 【教育センター】	学校職員が環境に関する知識や技術を習得するため、環境教育の研修会を開催します。	鎌倉市初任者研修会 テーマ「自然体験から人間の感性を育てる」 講師 五感教育研究所 高橋 良寿 氏 日時：8月24日（土） 会場：県立足柄ふれあいの村 参加者：15名

第2節 環境教育をする場、素材の整備

環境保全活動や自主的な環境学習活動を促進していくために、水辺、緑地といった、環境学習フィールドとして適した場所についての地域づくりを推進します。

主な事業	事業内容	実績
緑地の整備促進 【みどり公園課】	自然環境の保全、活用を基調に、健康づくり、ふれあいや憩いの場づくりとして、緑地を整備・充実します。	社会資本総合整備計画に基づき、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を実施。山崎・台峯緑地については、風致公園拡大区域部分は整備を行い、令和4年（2022年）5月16日に約26.5haへ区域を拡大。都市緑地部分は令和元年（2019年）7月26日に都市計画事業認可を受け、用地取得を実施中。市民の身近な森づくり事業（常盤山特別緑地保全地区）を1回実施。
公園の整備促進 【みどり公園課】	自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。	社会資本総合整備計画に基づき、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を実施。山崎・台峯緑地については、風致公園拡大区域部分は整備を行い、令和4年（2022年）5月16日に約26.5haへ区域を拡大。都市緑地部分は令和元年（2019年）7月26日に都市計画事業認可を受け、用地取得を実施中。
ハイキングコースの維持管理 【観光課】	市民、観光客が豊かな自然に親しむことのできるハイキングコースの維持管理を引き続き行います。	市民及び観光客が利用しているハイキングコースについて、安全で快適な状態に保たれるようにパトロールを実施しました。また令和6年度（2024年度）は、利用者が安全にハイキングコースを利用できるように、天園ハイキングコースの倒木処理や大仏ハイキングコースの手すりの補修等を実施しました。
ビオトープ等の整備 【環境保全課】	市庁舎前に整備したビオトープにおける生物の自然な生息を維持し、自然観察の場を提供します。	平成13年（2001年）に隣接する御成小学校の児童とともに市庁舎前の池をビオトープとして整備し、来庁する市民等が身近に自然観察を行える場として維持管理を実施。
鎌倉の環境保全の解説 【環境保全課】	希望者に鎌倉の環境保全についての解説を実施します。	令和6年度（2024年度）は実績なし。
日本遺産事業 【日本遺産いざ鎌倉協議会】	日本遺産の情報発信、普及啓発等のため、事業を行います。	平成28年（2016年）4月に認定された日本遺産のストーリーを通じて、魅力発信等の取組を進めました。また、令和6年度（2024年度）では、鎌倉駅西口にて日本遺産「いざ、鎌倉」観光案内所の運営を開始し、周遊マップや日本遺産特設サイトの多言語化を行ったほか、鎌倉を舞台としたTVアニメ「逃げ上手の若君」とコラボしたスタンプラリーを実施し、日本遺産ストーリーの理解を深めるとともに分散観光を促進しました。

環境教育をする場、素材の整備におけるその他取り組み

●生涯学習ガイドブック

<生涯学習課>

ホームページで公開している「生涯学習ガイドブック」には、様々な分野の生涯学習の指導者、学習グループ・サークル、生涯学習施設などの情報を掲載しており、自然や環境の分野に関わりのある指導者、グループについても募集しています。

●教育資料の刊行

<教育センター>

学校における学習資料など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校3・4年生社会科学習資料「かまくら」や中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、中学校理科学習資料「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。

●環境に関する図書館資料の充実

<中央図書館>

鎌倉市図書館には、環境をテーマとした資料が3,915点(図書3,690点、雑誌102点、AV資料123点)(令和7年(2025年)3月現在)あり、市民の環境学習を支援しています。

第3節 環境教育に関する情報提供

「ライフステージに応じた環境教育の実施」、「環境教育を実践できる人材の育成と活用」、「環境教育をする場、素材の整備」の施策を充実させるため、環境教育に関する情報提供を行います。

●広報かまくら

＜広報課・担当課＞

市の情報提供媒体として、原則毎月1回発行している広報紙「広報かまくら」があります。主な環境教育関連記事として、リユースネットかまくら、リサイクル推進会議、野生動物への対応、光化学スモッグへの注意喚起、食品ロス削減、地球温暖化防止、冬の省エネ、再生可能エネルギー・省エネ機器等設置に補助金、などを掲載しました。

●鎌倉ごみ減量通信

＜ごみ減量対策課＞

鎌倉市のごみ減量・資源化施策を紹介する鎌倉ごみ減量通信を1回発行しました。

●J:COM 湘南・神奈川

＜広報課＞

ケーブルテレビ「J:COM 湘南・神奈川」の「鎌倉市からのお知らせ」として、1回10分程度の番組を毎月1日～15日、16日～その月の末日の各約15日を1サイクルとして年間12本制作、月曜日から金曜日は1日2回、土・日曜日は1日3回の放映を行い、環境関連を含む市のさまざまな情報について紹介しました。

●かまくらFM

＜広報課＞

かまくらFMの市政情報番組「かまくらじお」でも、環境関連を含むさまざまな市の情報について放送しました。放送は月曜日～金曜日は1日6回、土・日曜日は1日2回です。

●市ホームページ (<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

＜広報課・担当課＞

インターネットを活用し、環境関連などさまざまな情報を発信しました。従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、生活環境のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/index.html>) では、「鎌倉市の環境政策」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々環境トピックスも掲載しています。あわせて環境計画のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/kankyouseisaku/index.html>) では、「かまくら環境白書」などの各計画について掲載しています。

なお、ごみ・リサイクルのページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>) でも、「資源物とごみの分け方・出し方」などを掲載し、循環型社会の形成に向けて情報を公開しています。

●facebook(<https://www.facebook.com/kamakuracity.hisyokoho>)

＜広報課・担当課＞

主に行政情報やイベント情報をお知らせしており、随時更新しました。

●X (旧 twitter) (鎌倉市インフォメーション) (https://x.com/kamakura_koho)

＜広報課・担当課＞

主に行政情報やイベント情報をお知らせしており、随時更新しました。

●Youtube (<https://www.youtube.com/user/KamakuraOfficial>)

＜広報課・担当課＞

J:COM 湘南・神奈川で放送した市政情報番組「鎌倉市からのお知らせ」や市長記者会見などを掲載しました。

●市公式LINE

＜広報課・担当課＞

主に行政情報やイベント情報をお知らせしており、随時配信しました。

●暮らしのガイドブック

＜広報課＞

暮らしのガイドブックは市役所の窓口などの行政情報や日常生活に役立つよう作成された冊子です。中ほどにある特集ページでは、ごみ減量への取り組みを掲載し、特集ページに続いて行政ページでは、資源物の収集方法や生ごみ処理機の助成制度なども掲載しました。

●市公式 note (<https://kamakura-city.note.jp/>)

＜広報課・担当課＞

マガジン「そらうみまちきれい」において、市の環境に対する取り組みなどを掲載しました。

■各主体との連携

●環境保全団体活動に対する支援

＜環境保全課＞

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、より多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体が実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表9-3のとおりです。

表9-3 環境保全団体に対する支援の実施状況

年度 \ 項目	通信助成		講師派遣助成		後 援	
	団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
令和3年度	1	47 通	—	—	2	2 回
令和4年度	1	52 通	—	—	4	6 回
令和5年度	1	74 通	—	—	4	6 回
令和6年度	1	78 通	—	—	7	7 回

●市内環境保全団体等の活動状況

＜市民・事業者＞

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。

これらの団体から令和6年度（2024年度）の活動内容を報告してもらい、個人情報を除く、原文のまま掲載しました。

団体名	鎌倉を美しくする会	会員数	12名	代表者	高田 晶子		
活動目的	2024(令和6)年度 落書きゼロとまち美化						
【活動の内容】							
★ 鎌倉市内の落書きは面積も広く観光地でもある鎌倉地区が最も多く、次いで大船地区、深沢地区、腰越地区、玉縄地区の順に推移しています。 特に鎌倉地区は一見さん犯罪が多いように思います。 2千年新世紀を迎えたというのに、市内には、落書きが蔓延し手の施しようがないほど、落書きで汚染されていきました。 それから四半世紀、常習犯は今も健在。逮捕を願って活動してきたものの、これから先が不安です。							
★ きれいだと捨てない 散乱ごみが目立つ大船駅東口界隈は、散乱ごみやたばこの吸殻のポイ捨ても多いので、通年ごみ拾いや草取り、道路の脇に溜まった土の除去などを実践し、少し手ごたえを感じています。							
2024（令和6）年度〔落書き・貼紙発見 月次処理一覧表〕 資料作成 鎌倉を美しくする会							
月	落書き形態		貼紙形態		月合計	処理有無	
	タグ	絵	手書き	印刷		処理済	未処理
4月	8	1	8	1	18	18	0
5月	5	0	3	19	27	27	0
6月	13	0	10	9	32	32	0
7月	14	0	7	3	24	24	0
8月	5	0	11	2	18	18	0
9月	4	0	4	6	14	14	0
10月	14	0	3	7	24	24	0
11月	16	0	6	10	32	32	0
12月	17	0	6	9	32	32	0
1月	8	0	6	12	26	26	0
2月	31	0	3	4	38	38	0
3月	2	0	1	1	4	4	0
累計	137	1	68	83	289	289	0
合計	138		151		2020年 287件 2021年 423件		
総合計	289				2022年 530件 2023年 317件		

団体名	特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会	会員数	325名	代表者	相川明子
目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する。				

【活動内容】

「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させました。2008年4月より特定非営利活動法人団体となりました。

当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、昔ながらの循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)に分かれ、鎌倉中央公園内の谷戸を昔ながらの農文化を継承して谷戸の景観と生態系を保全しています。

＜年間の活動＞

- ・7つの班による、季節に応じた保全活動を実施(270回)、うち70回は(公財)鎌倉公園協会との協働事業
- ・事務局の運営(木曜を除く毎日、交代制で実施)、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等
- ・谷戸まつりを開催し(年2回)、保全活動で収穫した農産物で炊き出し、自然体験の提供
- ・会報の発行(年6回)谷戸塾開催(全45回 内訳:田んぼ・畑・雑木林管理班の作業各38回、谷戸講座7回実施)環境省主催モニタリングサイト1000里地調査

＜行政、公園課、公園協会との協働など＞

3者協議に出席しました。公園利用者懇談会、鎌倉中央公園運営協議会に出席しました。

＜主要事業及び(公財)鎌倉公園協会との協働事業＞

理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、子ども里山体験、どんど焼き、活動連絡会議の開催(1回/月)、「ホタルの紙芝居」とパトロールをしました。

＜体験学習の受け入れなど＞

鎌倉市環境政策課・環境アドバイザーに登録し、学校と連携をして実施しています。深沢小学校5年生、特別支援教室ひだまり、富士塚小学校5年生、山崎小学校5年生、鎌倉あそび基地ふかふか学童・フリースクール largoの受け入れをしました。

＜他団体の受け入れなど＞

自然環境復元協会主催 若手ボランティア(かまくらレンジャーズ)保全活動、かまくら子育て支援グループ懇談会と共催「さといもとどろんこ」、青空自主保育「やんちゃお」保全活動・青空自主保育「にこにこ会」保全活動・青空自主保育「なかよし会」保全活動、NPOセンター主催 高校生ボランティア体験受け入れ、NPO法人かまくら冒険遊び場やまもりと協働開催「出張冒険遊び場」、生物多様性及び生態系サービスに関する政府科学-政策プラットフォーム(IPBE)IGES(地球環境戦略研究機関)主催 政府間組織の会議視察受け入れをしました。

＜他団体への訪問・交流・会議出席など＞

山崎 例祭参列、かまくら子育て支援グループ懇談会月例会に出席、小袋谷御囃子会に注連縄用藁の頒布提供をしました。神奈川県気候変動調査 ヒアリング・ステークスホルダーワークショップ参加、ホンネ de トーク(鎌倉市教育委員会主催) 参加をしました。もしかま 鎌倉FM主催 防災イベント 協力参加をしました。「子育て支援大集合!地域の力で未来を育もう」(公財)鎌倉青年会議所主催、深沢小ふれあい広場に参加をしました。

＜PR・展示活動＞

NPOセンターフェスティバル参加をしました。

＜取材・掲載＞

鎌倉FM出演 Lien 掲載、東京新聞取材受け入れをしました。

＜農産物の寄付 提供 農機具貸し出しなど＞

近隣町内会、近隣小学校、高齢者ケア施設

団体名	NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議	会員数	124 名	代表者	高井幸恵
活動目的	ごみ発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進				
当会は環境にできるだけ負担をかけない暮らし方を基本に、持続可能な社会の構築を推進する活動を行うことを目的に、平成8年に発足しました。各部会に分かれて、笛田リサイクルセンターの工房施設内で活動を行っています。 【活動の内容】 ・身近でできるごみの減量やごみにせず再利用を促す講座の開催 ・かわら版・ホームページによる行事の案内及び啓発（毎月発行） ・鎌倉市不用品登録協働事業「リユースネットかまくら」の運営 ・市民参加型ゼロウェイストを目指すイベントの開催 ・リサイクルに関する相談アドバイス ・ウエスを集めて社会福祉協議会へ寄付 ・インクカートリッジ里帰りプロジェクトやペットボトルキャップ回収に協力 ・「まちのコインクルッポ」に参加 ・フードロス削減を目的とした鎌倉近隣農家の余剰野菜を販売 ◆生活の知恵部会 受託事業は80講座、自主事業は111講座、合計191講座を開催し、参加者は1,677人になりました。 修理修繕教室…3回 リサイクル手芸教室…41回 衣類リフォーム教室…36回 リサイクル工作…15回 その他の教室…96回 ◆環境部会 8月夏休み子ども学習会においてタブレットで「ごみ分別ゲーム」を体験、工作として卵の紙パックで亀を作成しました。 12月ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2024」を見学 2月「鎌倉市市民活動フェスティバル」にパネル参加し、会の活動を紹介 鎌倉リサイクル通信「ラ・ラ・ラ」第34号発行（年1回発行） ◆イベント ・笛田リサイクルマーケット（ドライブインフリマ、古本市他）11月17日 ・笛田リサイクルマーケット（古着市、着物市他）3月23日 ◆展示 通年、季節の常設展示に加え 10月事務棟一階ロビー展示リニューアル 11月リサイクル作品展 ◆不用品登録協業事業 本会とNPO法人鎌倉シチズンネット、鎌倉市による不用品登録協業事業（リユースネットかまくら）で不用品の橋渡しを行いました。					

【活動の成果】

- ・ 講座は少人数制ではありますが、講師・スタッフの努力が実り、どの講座も概ね80%以上の参加となりました。一人一卓でミシン等も一人一台使用できる体制は、短時間でも効率よく作業ができると好評でした。
- ・ 11月開催「笛田リサイクルマーケット」は予想以上に盛況となり延べ約900人と多く



の方に来館していただきました。古本市は寄付された2,000冊のうち1,200冊がリユースされ、残った本はNPO法人セカンドブックアーチにより更なる再利用をしてもらいました。

3月開催「笛田リサイクルマーケット古着市」は、来館者数約500名。鎌倉市民から衣類約1,151kgの寄付があり、当日約601kg（52.2%）がリユースされました。当日は着物市や東北支援物産販売、福祉作業所による物販も行いました。

- ・ 不用品登録協業事業は、登録件数1,764件に対し、応募件数1,163件、成立件数は1,043件、成立率は59%でした。
- ・ 4年目となるウエス回収は142kgを社会福祉協議会に寄付しました。農家の余剰野菜販売やおもちゃ病院開催、ペットボトルキャップ回収も継続中です。

・ 一年を通して来館者は5,007人（内講座参加者1,677人、イベント参加者1,400人）リユースネット利用者は2,807人で、当会は延7,807人にご利用されました。広報活動として、InstagramやFacebookを開設して活動の様子を配信するほか「まちのコインクルップ」を行事などの宣伝ツールとして活用し、多様な方々に来館していただけるような仕組みを作りました。



団体名	認定 NPO 法人 鎌倉広町の森市民の会		会員数	551 名	代表者	滝沢 亮
活動目的	広町緑地の指定管理者として都市林の保全に努めています。 貴重な自然を維持するとともに、都市林ならではの創造的な活用法を市民自らが生み出し、新しい環境保全のあり方を発信するため、地域の皆さまと共に活動しています。					
【活動の内容と成果】						
● 広町緑地の施設維持・運営管理 指定管理者として公園施設、樹林地、緑地管理、湿地等の維持管理を行い、貴重な自然環境の保全、そして近隣住民や来園者の安全管理と快適な自然体験の創出に努めています。 ● 広町緑地の自然環境モニタリング 自然環境のモニタリングを当会が運営している「自然観察の会」の協力を得て継続的に行っています。注目種のみでなく環境諸条件、植生、水量、昆虫、鳥類など多岐にわたる調査結果は広町の保全方針に反映するだけでなく、毎年自然観察調査報告集としてまとめ、市民等に公表しています。 ● 市民ボランティアと連携した里山保全活動 当会が運営している5つの会の市民ボランティアにより田畑、散策路、樹林帯の管理や動植物の保全活動を行っています。昨年度の延べ活動日数は487日、延べ参加人数は3,300名以上でした。広町ホームページや SNS による情報発信や新規ボランティアの募集にも力を入れ、多くの市民が里山保全に参加する機会づくりに努めています。						
						
			植生保全作業の様子	令和6年度自然観察調査報告集		
 広町公式ホームページ  広町公式 Instagram  広町 Facebook  広町 X						
● 市民イベントや講座の開催 ～広町緑地の紹介や自然と触れ合う機会の創出～ 令和6年度は祭イベント（4回）、講座・教室（6回）、里山さんぽ等（7回）、子ども向け体験教室（8回）等のイベントを開催し総勢1,500人以上にご参加いただきました。かまくら緑の探偵団も運営しており、子供向け体験教室と連携し活動しています。  8月 藍染教室  10月 稲刈り祭  2月 探偵団お楽しみ企画						

● 環境学習の推進

～広町には豊かな自然と地域の方とのつながり、そして五感を刺激する「生きた学び」があります～

地域の学校教育と長期的・継続的に連携し、かつ「里山保全と連携した環境学習の実践」を目指しています。子どもたちに土や生き物を触りながら、自然をリアルに感じ、考え、想像してもらいました。四季折々の生き物の変化を様々な角度から探求することが一人ひとりの自然に対する価値観の形成につながると考えています。

2024 年度は鎌倉市環境政策課・環境教育アドバイザーに登録し、年間 34 回、延べ 2 千人以上の児童・生徒と広町での自然体験学習を行いました。



葉っぱの形もいろいろ



透かしてのぞくと？



自分の手で触り、想いを形にする作業を通じて自然物を観察する力を養い



虫いるかな



※生き物の持ち込み

持ち出しはできません



畑を耕す
種をまく



落ち葉を集めて堆肥に



サツマイモヅルで
リースづくり



水はどこから



広町保全活動の歴史を聞く



地域の方とふれあい、
歴史や自然を学び、広
町を知り郷土愛を育み

植物駆除作業を体験し環境保全を考える

◆鎌倉広町緑地での環境学習のお問い合わせ

認定 NPO 法人 鎌倉広町の森市民の会 環境学習チーム

TEL:0467-32-5112 Mail: info@kamakurahiromachi.org

団体名	鎌倉の自然を守る連合会	会員数	4500世帯	事務局長	珍田 宥充
活動目的	広町緑地の自然環境保持と傘下住民の憩いの場所としての活動				
【活動の内容】					
1・定例役員会を開催し、都市林構築の議論を重ね、自然環境保護の流れを次世代に継承して行きます。					
2・周辺自治・町内会の傘下会員に対して、広町緑地の関連情報を提供しより楽しむ為の諸策を回覧板や掲示板で告知しています。					
3・指定管理者の「市民の会」が主催する広町緑地懇話会等を通して、傘下会員からの緑地の利用方法や要望、意見を収集し提言して行きます。					
4・広町緑地の基本構想、基本計画、基本設計及び実施設計に関与し、緑地周辺諸団体の一つとして、「懇話会」等で適時に管理運営に進言して行きます。					
5・地域住民の福祉や厚生への寄与として、「観桜会」、「観螢会」、「観楓会」を企画し、告知ポスター等を通して先駆的役割を果たしています。					
6・＜広報活動＞					
①活動内容を傘下会員に知らしめるため年に1回は、「連合会ニュース」を発行し、配布をしています。					
②春夏秋冬に合わせて「広町の森たより」を発行し、傘下自治町内会の回覧板並びに掲示板でお知らせしています。					
③毎年年末に翌年度の「広町の森自然カレンダー」を発行し、傘下世帯へ配布しています。同時に地域内の公共施設や関連施設にも配布しています。					
7・広町緑地の環境保全の為に					
「市民の会」並びに「5つの会」と協働して、緑地内の除草やカイボリ作業などのボランティア活動を実施しております。この活動は、台風惨禍の対策や生育物の育成を促す為であり、傘下会員にたいして回覧板や掲示板で募集・告知しています。					
8・連合会は、「広町緑地の保全」を大目標にして昭和59年に発足し、平成14年に保全決定された後も活動を継続してきましたが、次の段階として、規約改正（3条・目的 7条・役員任期）を含め令和7年度からの実施を目指した「将来構想検討委員会」のPJを起ち上げました。					
【活動の成果】					
★連合会が持っている「情報収集力」や「広報力」で、広町緑地での諸活動を多岐に亘って知らしめることで、市民がより楽しめる憩いの場所としての広町緑地の位置づけを確固たるものにしている。					

団体名	鎌倉のごみ減量をすすめる会	会員数	11名	代表者	臼田宗太郎
活動目的	鎌倉市のごみの発生抑制、ひいてはごみ焼却量の削減を進める				
【活動の内容】					
●生ごみ減量に向けた取組 （分別の重要性、3R、生ごみ処理の啓発）					
勉強会・セミナーの開催					
分かりやすい分別表の作成					
資源物分別の実践指導					
分別ゲームの実施					
食品ロス削減の啓発					
生ごみの水切り徹底の周知					
ごみ減量キャラバンの実施					
生ごみ処理機の活用促進					
環境教育アドバイザー資格取得会員在籍					
					
					
					
●プラごみ削減に向けた取組					
「かまくらプラごみゼロ宣言」への協力					
ウォーターサーバーの周知活動（ペットボトル削減・マイボトル利用促進）					
海底ごみの現状を伝える海底ごみ調査及び、啓蒙活動					
					
					
●その他の活動					
廃棄物処理施設見学の実施					
広報・組織強化					
ホームページの更新					
会員拡大					
					
【活動の成果】					
活動は地域市民に徐々に浸透して賛同者も増えてきている。特にごみ減量キャラバンは、年間の生ごみ排出量削減に寄与しており、参加者の関心や理解の深まりを実感している。					
また、海底ごみの潜水調査ではプラスチックごみ問題を具体的に伝える有効な取組となっている。					

団体名	湘南・省エネネットワーク	会員数	20名	代表者	前島 仁
活動目的	気候変動、地球温暖化防止および脱炭素・省エネなどの普及啓発活動への取組				
【活動の内容】私たちはSDGsの気候変動、エネルギー、教育など社会的な課題解決の目標に取組 ました。					
(1) 気候変動：地球温暖化防止 		環境賢人者会合 「カーボンニュートラルへの道筋」をテーマに取上げて、 (1) 気候変動枠組条約締約国(COP)会議の開催結果、IEA 報告などの国際動向 (2) 北海道旭川市での GX(グリーントランスフォーメーション)プロジェクトの水素エネルギー、蓄電池および送配電システムなどの立上状況 (3) 家庭用蓄電池の導入を検討した結果と懸念事項・課題 (4) エネルギー基本計画の見直しに当たり電源構成についての課題および対策を2回にわたり意見交換して、環境省・経済産業省・神奈川県・鎌倉市のパブリック・コメントに提言などの意見陳述に応募しました。 (8 人参加) エコリンピック 24 を開催して各国の取組みを評価した結果、1位:欧州、2位:日本、3位:米国、4位:中国の順で、取組が加速してきました。 (13 人参加) [参加者の声]欧州以外は横一線で、日本の強みと弱みがよく理解できました。			
(2)エネルギー：省エネ・再エネ 		省エネカレンダー を12月に制作して、毎月の省エネ目標と行動について省エネアイテムをチェックして実施するよう働きかけました。(14 人参加) 豊かな自然・環境と共生して知恵と工夫のスマートライフで湘南の四季を愉しむ環境との共生をテーマにしています。1年間分の季節の花や寺社、自然の光景などを写真、歳時記と平均気温などを参照しながら、徒然なるままに湘南の四季を省エネ俳句と共に愉しんでいただく趣向になっておりますので、多くの方々から好評をいただきました。 [参加者の声]素晴らしい写真と省エネのアイデアが満載で取組易いです。			
(2) 教育：環境学習・体験講座 		市民向け CO₂コツ講座 :4回にわたって開催しました。 (1)WHY なぜ今 脱炭素編 国際的な気候変動対策 地球大での取組 (2)WHAT なにを今 脱炭素編 国内の気候変動対策 日本政府の取組 (3)HOW どうする 脱炭素編 脱炭素社会の実現に向け自治体の取組 (4)ACTION どうやる 脱炭素編 家庭でのカーボンニュートラルの取組 [参加者の声]広範に網羅した上、とてもわかりやすく理解できた。 (249 人受講)			

	環境ボランティア講座を8月の夏休みに開催して、鎌倉女学院高等学校、北鎌倉女子学園、法政第二高校から女子高生が熱心に参加しました。(7人受講) 「あなたならどうする? 地球環境問題への取組」をテーマに体験学習形式で (1) どうなる地球環境問題: 身近な環境の観察を通じて自ら考えて (2) どうする気候変動対策: 国内外動向の演習を通じて評価して (3) どうやる温暖化防止策: 温湿度計測の実験を通じて実践しました [参加者の声] 身近な環境問題を通じて、いかに自分事化するかを学びました。 鎌倉市職員受入・市民協働研修で鎌倉市の持続的な発展の為に、脱炭素社会に向けた気候変動対策へのアクションについて、身近な事例を基に家庭でのカーボンニュートラルへの取り組みなどに関する諸課題を討議しました。 また、県内の自治体とのベンチマーキング比較・考察、ベストプラクティスなどについても演習しました。 (1人受講) サステナブル建築物見学会を鎌倉市立第二中学校で開催しました。文部科学省のエコスクールづくりについて教育委員会の検討委員会に環境担当委員として参画した会員から具体的な検討内容などを紹介しました。(4人参加) [参加者の声] 低炭素型の木造校舎に改築して生徒が今でも大切にしていました。
(6)パートナーシップ：連携 	メール・ニュースを環境や健康などをテーマに発信しました。 (5千人回発信) パブリック・コメントは、環境省へ地球温暖化防止法改正、地球温暖化対策計画、デコ活国民運動、太陽光リサイクル制度について、経済産業省へエネルギー基本計画、省エネ法改正、GX2040ビジョン、電力システム改革について、神奈川県へ地球温暖化対策推進条例、地球温暖化対策推進条例施行規則、土地利用基本計画、建築基準法施行細則について、鎌倉市へ地球温暖化対策地域実行計画(地域脱炭素化促進事業編)、こども計画について数多くの提言などを意見陳述に応募しました。 (7回 34件)
【活動成果】 自らの成果を広く市民に紹介 環境賢人者会合の開催: 2回、参加者: 8人回 メール・ニュース発信: 約250回、閲覧者: 約5千人回 講座・フォーラムの開催: 6回、受講者: 447人回 パブリック・コメントへの意見陳述・応募: 7回 34件	【今後の取組】 SDGs への取組を展開 わたしたちの活動は小さな歩みで少しずつ発展し、地域からまちづくり、社会へと進化してきています。 SDGs への取組を継続して地域の未来社会に貢献ができるように、今後も一層の活動を展開していきます。

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	1,059 名	代表者	勝元 晋平
活動目的	まちの美化活動／環境出張教育／生物多様性活動の推進				

【活動の内容】

1. まちの美化活動

三菱電機(株)鎌倉製作所地区(関係会社(6 社)*1 含む)の有志を募り、通勤で利用している工場周辺の道路を隔週で清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。本活動は 03 年度より開始し 21 年間継続で活動を行っています。

また、鎌倉市と藤沢市を流れる柏尾川沿いの県道304号線を、周辺企業3社*2と一体になり年 1 回の頻度で鎌倉の環境保全に繋げる清掃活動や、鎌倉市が共催する「クリーンアップ鎌倉2024」に有志を募り積極的に参加しています。

【活動実績】

1) 通い道クリーン活動	: 2024 年度	合計	1,059 名参加
2) 県道沿い清掃	: 2024 年度	合計	25 名参加
3) クリーンアップ鎌倉	: 2024 年度	合計	74 名参加

2. 環境出張教育

近隣小学校の児童に、鎌倉製作所で製造している製品や社員一人ひとりが取り組んでいる工場での環境への取り組み、工場周辺の清掃の社会貢献活動、絶滅危惧種を守る取り組みなどを紹介しています。24 年度で 17 年目の活動となり、継続的に開催することで地域の子供たちへ環境マインドの醸成を図っています。

3. 生物多様性活動の推進

社内のオフィスに緑を増やし従業員の生物多様性マインドを醸成するために多肉植物の繁殖を始めました。

【主な取り組み】

1) 社内で育てた多肉植物の寄せ植えをオフィスに設置。

2) 敷地境界樹木の伐採木を活用し社内の散策路へ木チップ敷設。

3) 絶滅危惧種「キンラン」、「クゲヌマラン」の保護（継続）。



⇒





⇒



社内で増やした多肉植物の寄せ植え

散策路へ木チップ敷地（木の香りが癒されます）

*1：関係会社

三菱電機エンジニアリング(株)

三菱電機ソフトウェア(株)

三菱プレシジョン(株)

三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ(株)

菱電湘南エレクトロニクス(株)

菱栄テクニカ(株)

*2：周辺企業

(株)神戸製鋼所 藤沢事業所

(株)江ノ電バス藤沢 湘南営業所



団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	150 名	代表者	岩田 晴夫
活動目的	自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				
【活動の内容】					
私達は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティー向上を図ることを目的として活動を実施しています。 ① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月 1 回実施しています。 自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上・生物多様性の保全)を図ること等が目的です。 コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993 年 5 月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993 年 5 月～)等の作業を実施しています。 ② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)をしています。 ③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。 ④ 平成 6 年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャージュニアの活動を年間 11 回指導しています。 ⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受けています(1997～)。 佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。 稲瀬川の水質調査と水生生物調査も、実施しています。 ⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施しています。 ⑦ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言しています。 ⑧ 神奈川県藤沢土木事務所による坂ノ下の災害復旧工事後のモニタリングを継続実施し、貴重種の保護と管理上の留意点を助言しています。 ⑨ (公財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1 月)しています。 ⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施しています。 ⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣しています。					

⑫ 鎌倉メダカの系統保護を図ると共に、市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力しています。

⑬ 特定外来生物のアライグマとクリハラリスの防除実施計画に協力しています。

⑭ 貴重種・重要種に指定されている野鳥の繁殖環境保全に係わる自然環境調査等を実施中です。

⑮ 保全緑地等で、トレイルカメラによる野生鳥獣のモニタリング調査を実施中です。

⑯ 由比ヶ浜で、海砂に含まれるマイクロ・プラスチック等を調べました。

【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿生花園内に既存動植物の保全区域を維持しています。

主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続しています。

近郊緑地保全地区や山崎・台峯緑地等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の整備・維持管理に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。

重要な植物種を保護・移植・増殖する試みも実施しており、順調に推移しています。

獣類の“離れ”個体に係る情報等をまとめ、神奈川県と鎌倉市の関係機関に提供しました。

横浜国大附属小学校のビオトープ「ひょうたん池」を定期的にモニタリングし、維持管理について助言しました。

国史跡・永福寺跡の苑池や梶原7号緑地の調整池等のモニタリングを実施し、維持管理について助言を行い協力しました。

鎌倉市の許可を得て、市内の保全緑地や公園等にトレイルカメラを設置し、鳥獣の生態・保護に関わる情報の収集を図り、鎌倉市に情報を提供し、維持管理に役立てて頂いております。

タヌキとノウサギの個体識別が可能となり、その生態についての知見が蓄積されています。

近年、温暖化の影響なのか、川の護岸や橋などの老朽化が目立つため、モニタリング結果を定期的に神奈川県藤沢土木事務所や鎌倉市等へ報告しています。



▲佐助川のカワトンボ



▲採餌中のノウサギ



▲頭をかくノウサギ



▲クチキコオロギ